|  |
| --- |
| 0001_tis_logo.png |
| Java 受講後試験 |
| **（模範解答あり)** |
|  |
| **制限時間：60分** |
|  |

|  |
| --- |
| ※問題数は30問、制限時間は60分です。 |

以下のカテゴリに関する問題を、3問ずつ出題します。

受講前試験、受講後試験の試験結果は下記カテゴリに沿ってレーダーチャートで紹介します。

1. 変数と型
2. 式と演算子
3. 配列
4. 条件分岐
5. 反復処理
6. クラス基本（オブジェクト指向、クラス、フィールド、メソッド）
7. メソッド基本（アクセス制御、オーバーロード）
8. クラス応用（コンストラクタ、staticメンバ、クラスライブラリ）
9. 継承
10. インターフェイス

# 変数と型

## 問1

エスケープシーケンスに関する説明として正しいものはどれか。

1. $マークとアルファベット1文字を組み合わせて、1つの文字リテラルとして扱われる。

2. 改行や水平タブを特殊文字として文字列中に記述できる。

3. 文字列を出力する際には、エスケープシーケンスも必ず記述しなければならない。

4. エスケープシーケンスの表記に使用する記号は、文字として出力することができない。

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』第3章/文字と数値/エスケープシーケンス

エスケープシーケンスとは、\マークと特定の文字を組み合わせた記述のことであり、文字として表現できないものを疑似的に表現できるようにしたものです。文字列リテラルのように見えますが、扱いとしては文字リテラルになります。

エスケープシーケンスの中でも特に代表的なものに、「\n」と「\t」があります。

「\n」は改行1個分、「\t」は水平タブ（Tab空白）1個分を挿入したことと同じ効果を持ちます。

以上のことから、選択肢2が正解です。

## 問2

Javaにおける変数に関する説明として正しいものはどれか。

1. 一度宣言した変数の型は処理の途中で自由に変更できる。

2. 変数は、宣言の処理を省略しても使用できる。

3. 1つの変数の中には、複数の値を保存できる。

4. 変数は、何らかの値を保存するための入れ物として使用する。

正解：4

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』第4章/変数/変数とは

プログラムは計算途中の情報をメモリ上に保存しないと、その情報を後で利用することができません。

そして、メモリ上には複数の情報を保存できるため、それぞれの情報が何のことなのかを識別する必要があります。

そこに情報を識別して保存するために利用するのが変数です。そのため、選択肢4が正解です。

ちなみに、変数を利用するためには、事前にその変数を宣言しないといけません。

そのため、選択肢2は不正解です。また、変数の型は1度宣言したら変更できないため、選択肢1は不正解です。

他のプログラミング言語でも同様ですが、1つの変数の中には1つの値しか保存できません。そのため、選択肢3は不正解です。

## 問3

以下の文はどのような処理を行っているか。正しいものを選べ。

int number;

number = 10;

1. 1行目では、整数型（number）の変数intを宣言している。2行目では、number型の上限値を10に指定している。

2. 1行目では、浮動小数点数型（int）の変数numberを宣言している。2行目では、変数numberに10という値を代入している。

3. 1行目では、整数型（int）の変数numberを宣言している。2行目では、変数numberに10という値を代入している。

4 1行目では、整数型（int）の変数numberを宣言している。2行目では、変数numberの値が10と等しいかどうかを比較している。

正解：3

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』第4章/変数を使う/値の代入

1行目の文は変数の宣言の処理です。「型名 識別子;」の形式で記述します。問題文「int number;」は整数型（int）の変数numberを宣言しています。

2行目の文では値の代入を行っています。「=」は「代入演算子」と呼ばれ、右辺側の値を左辺側の変数に代入する処理を実行します。

以上のことから、選択肢3が正解です。

# 式と演算子

## 問4

「%」という演算子はどのような処理を行うか。正しいものを選べ。

1. 2つの数の割合（パーセント計算）を計算する。

2. 2つの数の割り算の余りを計算する。

3. 2つの数の割り算の商を計算する。

4. 2つの数の掛け算を計算する。

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第6章/演算子/演算子の種類

「%」は剰余（割り算の余り）を計算するための演算子です。そのため、選択肢2が正解です。

例えば、「int x = 10 % 3」という式があった場合、計算結果は1であり、その値はxに代入されます。

## 問5

以下の文はどのような処理を行うか。正しいものを選べ。

ただし、2つの変数num1とnum2には予め整数値0が代入されているとする。

num2 = num1++;

1. num1の値がnum2に代入された後、num1の値が1加算される。

2. num1の値がnum2に代入された後、num1とnum2それぞれの値が1加算される。

3. num1の値が1加算された後、 num1の値がnum2に代入される。

4. num1とnum2それぞれの値が1加算された後、num1の値がnum2に代入される。

正解：1

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第6章/演算子の種類/インクリメントとデクリメント

++はインクリメントという演算子で、「もとからある数字に1を足す」という計算を行います。

インクリメント演算子には後置き（a++)と前置き(++a)の2種類があり、それにより計算を実施するタイミングが変わります。

後置きは他の演算子の処理がすべて終わった際に実施され、前置きは他の演算子の処理の前に実施されます。

そのため、問題の文の処理は選択肢1のようになります。

## 問6

次のソースコードをコンパイル、実行したい。想定される結果として正しいものを選びなさい。

【ソースコード】

public class Test {

public static void main(String args[]) {

String number1 = "100";

int number2 = 500;

number2 -= 100;

System.out.println(number1 + number2);

}

}

1. 500
2. 100500
3. 100400
4. 600

正解：3

解説

『東京ITスクールJavaテキスト 上巻』第6章/演算子の種類/文字列連結演算子

変数number1は文字列型です。

文字列型の変数と数値型の変数を「+」演算子で結ぶと、この演算は加算ではなく、文字列連結として行われます。

今回のソースコードでは文字列「100」と数値「400」の文字列連結となるため、結果は「100400」となります。

したがって、選択肢3が正解です。

# 配列

## 問7

配列に関する説明として正しいものはどれか。

1. 配列の添字は1から始まり、昇順で各要素に割り当てられる。

2. 配列の値は、値の大きさに応じて自動的に順番が並び替えされる。

3. 配列は指定した要素数より多い要素を持つことはできない。

4. 配列は異なる基本型のデータを混在して管理できる。

正解：3

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』第7章/配列/配列とは

配列とは、複数の値を1つの変数でまとめて保管するためのものです。

この配列内には要素と呼ばれる1つずつ値を入れる領域があり、各要素は0から始まる連番が割り当てられています。そのため、選択肢1は不正解です。

また、各要素の値は、追加した順番に要素に追加されます。値の大きさに応じて自動的に並び替えが行われる機能はありません。そのため、選択肢2は不正解です。

また、1つの配列内には指定された1種類の型（もしくは、その型より小さいサイズの型）のデータしか代入できません。そのため、選択肢4は不正解です。

配列を使用する際に注意しなければいけないのは、要素の数です。要素の数は一度指定された分しか作られません。

例えば、要素数を4つしか持たない配列には、5つ目の値は入れられません。そのため、選択肢3が正解です。

## 問8

以下の文はどのような処理を行うか。正しいものを選べ。

String[] test = new String[3];

1. 変数testに、String型の値を3個まで保存できる配列の情報を代入する。

2. 変数testに、String型の値を4個まで保存できる配列の情報を代入する。

3. 変数testに、String型の文字列「3」の情報を代入する。

4. 変数testに、変数newの値を3つの要素に格納した配列の情報を代入する。

正解：1

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』第7章/配列の準備/配列の準備

配列の宣言と、要素の確保に関する問題です。

上記のように文を書いた場合、右辺側ではnew演算子を使用して配列の要素が作成されます。

ここでは、「String[3]」と記述されているため、String型（文字列型）で要素数が3の配列が作成されます。

作成された配列は、変数（配列変数）にその配列を参照するための情報を代入することで、初めて利用できます。

ここでは、配列変数testに情報を代入しています。

以上のことから、選択肢1が正解です。

## 問9

次のソースコードをコンパイル、実行したい。想定される結果として正しいものを選びなさい。

【ソースコード】

public class Test {

public static void main(String[] args) {

String[] strArray = {"-\*", "-\*", "-\*", "-\*"};

System.out.print(strArray[1]);

System.out.print(strArray[2]);

System.out.print(strArray[3]);

System.out.print(strArray[4]);

}

}

1. -\*-\*-\*-\*
2. -\*-\*-\*-\*-
3. -\*-\*-\*-
4. 実行時に例外が送出される

正解：4

解説

『東京ITスクールJavaテキスト 上巻』第7章/配列の準備/要素の呼び出し

配列のインデックスは0から始まります。

問題文の「String[] strArray = {"-\*", "-\*", "-\*", "-\*"};」のように配列が宣言、初期化された場合は、インデックスは0～3までということになります。

したがって、System.out.print(strArray[4]);を実行すると、存在しないインデックス4番の要素を参照しようとするため、例外が送出されるはずです。

選択肢4が正解です。

# 条件分岐

## 問10

以下の式はどのような処理を行うか。正しいものを選べ。

ただし、変数num1とnum2はどちらもint型の変数とする。

num1 <= num2

1. num1の値がnum2の値より小さいか比較する。

2. num1の値がnum2の値より小さい、もしくは等しいか比較する。

3. num1の値がnum2の値より大きいか比較する。

4. num1の値がnum2の値より大きい、もしくは等しいか比較する。

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第8章/条件と関係演算子/関係演算子とは

「<=」は左辺側の値が右辺側の値より小さい、もしくは等しいかを比較するための関係演算子です。そのため、選択肢2が正解です。

## 問11

「switch文」に関する説明として誤っているものはどれか。

1. 条件毎に異なる処理を実行したい場合に使用する。

2. case文を記述できる回数に上限はない。

3. 全ての条件を満たさない場合の処理はdefault文の下に記述する。

4. case文には、値の一致、不一致、大小比較など、様々な条件の式を記述できる。

正解：4

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第8章/switch文/switch文とは

「switch文」は、「if～else if～else文」と同様に、複数の条件毎に異なる処理を実行したい場合に使用される構文です。そのため、選択肢1は不正解です。

switchブロックに内には、case文を複数個書くことができ、個数の上限はありません。そのため、選択肢2は不正解です。

各case文の条件判定は記述された順番に行われます。また、いずれの条件も満たさない場合には、default文以下の処理が実行されます。そのため、選択肢3は不正解です。

「switch文」と「if～else if～else文」の違いは、行える条件判定の種類です。「if～else if～else文」は値の一致、不一致、大小比較など、様々な条件を記述できます。それに対して、case文は値の一致判定しか条件として記述できません。したがって、選択肢4が正解です。

## 問12

以下の式はどのような処理を行うか。正しいものを選べ。

条件1 || 条件2

1. 条件1と条件2が両方とも満たされている場合のみ、条件全体を満たしていると判定する。

2. 条件1と条件2が両方とも満たしていない場合のみ、条件全体を満たしていると判定する。

3. 条件1を満たしていない、かつ条件2を満たしている場合のみ、条件全体を満たしていると判定する。

4. 条件1と条件2のいずれか一方でも満たしている場合、条件全体を満たしていると判定する。

正解：4

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第8章/論理演算子/論理演算子とは

「||」は、2つの条件のいずれか一方でも満たしている場合に式全体の評価をtrueとする論理演算子です。そのため、選択肢4が正解です。

# 反復処理

## 問13

「for文」の構文として正しいものはどれか。

1. for(変化のための式; 繰り返すかどうか調べる式; 初期化の式)

2. for(初期化の式; 繰り返すかどうか調べる式; 変化のための式)

3. for(変化のための式; 初期化の式; 繰り返すかどうか調べる式)

4. for(初期化の式; 変化のための式; 繰り返すかどうか調べる式)

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第9章/for文/for文とは

for文の構文は、「for(初期化の式; 繰り返すかどうか調べる式; 変化のための式)」です。そのため選択肢2が正解です。

繰り返し文の中では、「何かが変化する」ように書かなければ、いわゆる「無限ループ」になってしまう可能性があります。

そのため、「変化のための式」を書く箇所が、for文には最初から用意されています。

同様に、「初期化の式」と「繰り返すかどうか調べる式」も、記述するための箇所が最初から用意されており、必要な式を書き忘れることなく繰り返し文を記述できるのがfor文の特徴です。

## 問14

while文とdo～while文における処理の違いとして正しいものはどれか。

1. どちらも違いはなく、ブロック内の処理を実行する前に条件判定を行う。

2. どちらも違いはなく、ブロック内の処理を実行した後に条件判定を行う。

3. while文はブロック内の処理を実行する前に条件判定を行うが、do～while文は実行した後に条件判定を行う。

4. while文はブロック内の処理を実行した後に条件判定を行うが、do～while文は実行する前に条件判定を行う。

正解：3

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第9章/do～while文/do～while文とは

while文は、まず「()」内の条件で判定を行い、条件を満たした場合のみブロック内の繰り返したい処理を実行します。

このことを「前判定型ループ」と呼びます。それに対して、do～while文では、先にブロック内の処理を実行し、その後に条件判定を行い、条件を満たした場合はまた同じ処理を実行します。

このことを「後判定型ループ」と呼びます。したがって、選択肢3が正解です。

## 問15

次のコードを実行した時、\*が何回出力されるか。1~4の中から選んでください。

for (int i = 0; i < 10; i++) {

if (i % 2 == 1) {

System.out.println("\*");

}

}

1. 4回
2. 5回
3. 9回
4. 10回

正解：2

# クラス基礎

# （オブジェクト指向、クラス、フィールド、メソッド）

## 問16

クラスの記述方法に関する説明として正しいものはどれか。

1. クラスのブロックは "[" と "]" で囲って表記する。

2. クラス名の末尾は必ず「○○Class」と記述しなければならない。

3. クラスのブロック内には、フィールドのみを記述できる。

4. クラス名の手前には「class」という予約語を記述する。

正解：4

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第13章/クラスの仕組み/クラスとは

クラスのブロックは"{"と"}"で囲って表記します。そのため、選択肢1は不正解です。

そして、そのクラスのブロック内にはフィールドやメソッドなどのメンバを記述できます。そのため、選択肢3は不正解です。

クラスには必ず、他のクラスと識別するための名前を記述でき、その名前はプログラマが自分で決めることになります。そのため、選択肢2は不正解です。

また、クラス名の手前には必ず「class」という予約語を記述します。この予約語はその後ろに書かれたブロックを1つのクラスと認識させるための重要な役割を持っています。

したがって、選択肢4が正解です。

## 問17

以下の文はどのような処理を行っているか。正しいものを選べ。

Dog dog;

dog = new Dog();

1. 1行目で、Dogクラス型の変数を宣言する。2行目で、Dogクラスのオブジェクトを生成し、それを参照する情報を変数dogに代入する。

2. 1行目で、変数Dogに文字列「dog」を代入する。2行目で、変数Dogの中身を初期化し、改めて文字列「dog」を代入する。

3. 1行目で、配列型の変数を宣言する。2行目で、Dogクラス型の値を保存する配列を生成し、それを参照する情報を変数dogに代入する。

4. 1行目で、演算子Dogを使用して、変数dogを宣言する。2行目で、"new Dog"演算子による計算結果を変数dogに代入する。

正解：1

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第13章/クラスの宣言とオブジェクトの生成/オブジェクトを生成する

オブジェクトの生成に関する問題です。

オブジェクトを生成するには、「オブジェクトを扱う変数を宣言する文」と「オブジェクトを作成し、その変数で扱えるようにする文」を順番に記述する必要があります。

問題文では、まず1行目でDogクラスのオブジェクトを扱う変数dogを宣言しています。

そして、2行目でDogクラスのオブジェクトを作成（生成）し、そのオブジェクトを参照するための情報を変数dogに代入しています。

したがって、選択肢1が正解です。

## 問18

メソッドが持つ引数の用途として正しいものはどれか。

1. そのメソッドの処理結果を呼出元のメソッドに渡すため。

2. そのメソッド内で発生したエラー情報を呼出元のメソッドに渡すため。

3. 呼出元のメソッドから渡された値をそのメソッドに渡すため。

4. そのメソッドが呼び出された回数を呼出元のメソッドに渡すため。

正解：3

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第14章 メソッドの引数/情報を渡し、メソッドを呼び出す

あるメソッドに対して呼出元から指定された情報（値）を使って処理を行ってほしい場合、呼出元からメソッド内に何らかの情報を渡すことができます。

そのとき渡される情報を引数と呼びます。したがって、選択肢3が正解です。

# メソッド応用（アクセス制御、オーバーロード）

## 問19

private修飾子が付いたメンバの特徴として正しいものはどれか。

1. 全てのクラスのメンバからのアクセスを禁止する。

2. そのメンバ自身が記述されたクラス内にある他のメンバからのみアクセスできる。

3. 同じパッケージ内にあるクラスのメンバからのみアクセスできる。

4. パッケージに関わらず、全てのクラスのメンバからアクセスできる。

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第15章 メンバへのアクセス制限/メンバへのアクセス制限/private修飾子

private修飾子を付けた場合、そのメンバは他のクラスからのアクセスを禁止します。したがって、選択肢2が正解です。

## 問20

オーバーロードとは何のことか。正しいものを選べ。

1. 1つのクラス内に、同名のフィールドを複数定義できること。

2. 1つのクラス内に、同名で、かつ引数の型、数が同じメソッドを複数定義できること。

3. 1つのクラス内に、同名で、かつ引数の型、数が異なるメソッドを複数定義できること。

4. 異なるクラス内に、同名で、かつ引数の型、数が異なるメソッドをそれぞれ定義できること。

正解：3

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第16章 メソッドのオーバーロード/メソッドのオーバーロード/オーバーロードとは

オーバーロードとは、同じクラス内に同じ名前のメソッドを定義できることです。

その際には、各メソッドの引数の型と個数が異なるようにします。したがって、選択肢3が正解です。

## 問21

下記のようにメソッドを呼び出した場合、実行されるメソッドは次のうちどれか。

hello("こんにちは");

1. public void hello(String str){(中略)};

2. public void hello(int i){(中略)};

3. public void hello(String str,int i){(中略)};

4. public void hello(int i,String str){(中略)};

正解：1

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第16章 メソッドのオーバーロード/メソッドのオーバーロード/オーバーロードとは

問題文では、文字列1つを引数としてメソッドを呼び出しています。文字型の引数1つに対応するメソッドはhello(String str)です。

したがって正解は1となります。

# クラス応用

# （コンストラクタ、staticメンバ、クラスライブラリ）

## 問22

コンストラクタのブロック内に記述された文はどのタイミングで実行されるか。正しいものを選べ。

1. コンストラクタが記述されたクラスのフィールドが呼び出されたとき。

2. コンストラクタが記述されたクラスのメソッドが呼び出されたとき。

3. コンストラクタが記述されたクラスを型とする変数が宣言されたとき。

4. コンストラクタが記述されたクラスのオブジェクトが生成されたとき。

正解：4

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第17章 コンストラクタの基本/コンストラクタとは

コンストラクタとは、クラスのオブジェクトが生成されたタイミングで1回のみ実行される処理のことです。

コンストラクタ内には、フィールドへの初期値の代入など、オブジェクトを生成した際に必ず実行したい処理を記述します。

したがって、選択肢4が正解です。

## 問23

static修飾子が付いたメソッドの特徴として正しいものはどれか。

1. 生成したオブジェクトからのみ呼び出せる。

2. オブジェクトを生成せずに、クラスから呼び出せる。

3. メソッド名のみを記述して呼び出せる。

4. プログラム起動時に自動的に呼び出される。

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第18章 static変数とstaticメソッド

static修飾子が付けられたフィールドは「クラス変数」、メソッドは「クラスメソッド」と呼ばれ、どちらもオブジェクトではなくクラス自身に属する情報として扱われます。

これらのメンバには共通して、そのクラスのオブジェクトを生成しなくても、「クラス名.メンバ名」と記述するだけで呼び出して利用できます。したがって、選択肢2が正解です。

## 問24

JDKにおけるクラスライブラリとは何のことか。正しいものを選べ。

1. Javaの開発環境であらかじめ用意されている、よく利用する機能を持ったクラスの集まりのこと。

2. Javaの開発環境であらかじめ用意されている、Javaのプログラムの書き方を記した説明書のこと。

3. 自分で作成したプログラムを保存したパッケージ、及びプロジェクトのこと。

4. 自分で作成したプログラムを業務用に整理してまとめたクラスの集まりのこと。

正解：1

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第19章 クラスライブラリとは

Javaの開発環境では、便利な機能を持ったクラスが予め多数用意されています。それらのクラスの集まりのことを「クラスライブラリ」と呼びます。したがって、選択肢1が正解です。

なお、クラスライブラリ内の各クラスがどのような機能を持っているかは、Oracleから公開されているAPI仕様書（https://docs.oracle.com/javase/jp/8/docs/api/）で確認できます。

# 継承

## 問25

protected修飾子が付いたメンバの特徴として正しいものはどれか。

1. 全てのクラスのメンバからのアクセスを禁止する。

2. そのメンバ自身が記述されたクラス内にある他のメンバからのみアクセスできる。

3. 異なるパッケージのクラスでも、サブクラスからはアクセスできる。

4. パッケージに関わらず、全てのクラスのメンバからアクセスできる。

正解：3

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第20章 継承/protected修飾子

カプセル化の考え方に基づき、基本的にフィールドや一部のメソッドはprivate修飾子が付けられるケースが多いです。

private修飾子が付いたメンバは、他のクラスからのアクセスを禁止し、サブクラスであってもその例外ではありません。

しかし、サブクラスからのアクセスのみは許可してほしいという場合もあります。その際に利用されるのがprotected修飾子です。

protected修飾子が付いたメンバは、他のパッケージのクラスからのアクセスをprivate修飾子と同様に禁止しますが、サブクラスからのアクセスは許可します。

したがって、選択肢3が正解です。

## 問26

オーバーライドとは何のことか。正しいものを選べ。

1. サブクラスの中に、同じ名前で引数が異なるメソッドを複数定義できること。

2. サブクラスの中に、スーパークラス中のメソッドと同じ名前、引数を持つメソッドを定義できること。

3. サブクラスの中に、コンストラクタを複数定義できること。

4. サブクラスの中に、全てのクラスからアクセス可能なメソッドを定義できること。

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第20章 オーバーライド/オーバーライドされたメソッドの利用

オーバーライドとは、サブクラスがスーパークラス内のメソッドと同じ名前、同じ型、個数の引数を持つメソッドを定義できることです。したがって、選択肢2が正解です。

## 問27

final修飾子が付いたフィールドの特徴として正しいものはどれか。

1. そのフィールドの値は変更できない。

2. そのフィールドの型は必ずString型となる。

3. そのフィールドは全てのクラスからアクセスできない。

4. そのフィールドの値は必ずnullである。

正解 : 1

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第20章 オーバーライド/final修飾子

final修飾子が付いたフィールドは、宣言時に代入された値を固定値にして、それ以降の値の代入を禁止します。そのため、値の変更ができなくなります。したがって、選択肢1が正解です。

# インターフェイス

## 問28

インターフェイスの特徴として正しいものはどれか。

1. インターフェイスからはオブジェクトを生成できない。

2. インターフェイス名は、文法上必ず頭文字を「i〇〇」と記述しなければならない。

3. インターフェイスのブロックの手前には「class インターフェイス名」と記述する。

4. インターフェイスと通常のクラスは文法上の違いはない。

正解：1

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第22章 インターフェイス/インターフェイスとは

インターフェイスは、抽象クラスと同様に雛形として利用されるものです。

プログラムの扱いとしては標準的なクラスとは別物となるため、オブジェクトは生成できません。したがって、選択肢1が正解です。

また、インターフェイス内に定義されたメソッドは一部（defaultメソッド、staticメソッド、privateメソッド）を除いて基本的に抽象メソッドとして扱われます。

そのため、インターフェイスを実装（implements）したクラスは、必ずインターフェイス内のメソッドをオーバーライドして定義しないといけません。

ちなみに、インターフェイスの名前はクラス名と同様に基本的には自由に決められます。

先頭に「i」を書かなければいけないという文法はありません（ただし、慣習的に先頭に「i」を書いている開発現場もあります）。

## 問29

インターフェイスの特徴で誤っているものはどれか。

1. インターフェイスのフィールドはすべて定数になる。

2. インターフェイス内の「void メソッド名();」という形式のメソッドは、抽象メソッドとして扱われる。

3. インターフェイスに宣言している定数は他のクラスから呼び出すことができる。

4. インターフェイスは継承できない。

正解：4

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第22章 インターフェイス/インターフェイスとは

インターフェイスを元にして、サブインターフェイスを宣言することができます。

したがって、選択肢4が正解です。

## 問30

次の（　）内にあてはまる単語はどれか。

インターフェイスのメンバは全て（　）になります。

1. private

2. public

3. protected

4. アクセス修飾子なし

正解：2

解説

『東京ITスクールJavaテキスト』 第22章 インターフェイス/インターフェイスの定義

インターフェイスは他のクラスで実装されることを前提に作成しております。

同じクラス内でしかアクセスができないprivate修飾子は使用せず、すべてpublic修飾子になります。

したがって、選択肢2が正解です。